

平成 21 年度 (社) 奈良県臨床衛生検査技師会 第 2 回総会議事録

開催日時 : 平成 22 年 3 月 20 日 (土) 16 時 15 分から 17 時 15 分まで
場 所 : 奈良県立医科大学 一般教育校舎 1 階
会 員 数 : 556 名 (3 月 20 日現在)
出 席 者 : 314 名 (当日出席者 45 名、委任状による出席者 269 名)
欠 席 者 : 242 名

I 仮議長挨拶

林田事務局長から議長選出が完了するまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

II 開会の辞

宗川副会長が、平成 20 年度社団法人奈良県臨床衛生検査技師会第 1 回総会を開催する旨、宣告した。

III 会長挨拶

山本会長から、総会出席に対するお礼ののち、平成 22 年度の事業計画の予算案について審議、ならびに公益法人改革への対応を進めていくために協力と十分な審議の要請があった。

IV 来賓紹介

仮議長から当会名誉会員の山中亨会員と山名正夫会員の紹介と出席へのお礼が述べられた。

V 来賓挨拶

来賓を代表して山中亨名誉会員から、公益法人化の対応諮問委員として会長に答申した立場から協力していきたい旨と、全会員の協力のもと活発に活動されることを期待するとの挨拶があった。

VI 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、事務局より山田浩二 (県立奈良病院)、嶋田昌司 (天理よろづ相談所病院) 会員の 2 氏を提案、過半数を超える拍手多数で承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

VII 議事

1. 総会役員を選出

議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、事務局から下記の役員について提案があり、過半数を超える拍手多数を持って承認された。

〔議事運営委員（兼資格審査委員）〕

枡尾 茂 （県立三室病院）
中尾 和子 （県立三室病院）
川邊 晴樹 （天理よろづ相談所病院）
森分 和也 （県立医科大学附属病院）

〔書記〕

澤 知佳 （県立奈良病院）
石川 豊 （天理よろづ相談所病院）

〔議事録署名人〕

松田 誠 （吉田病院）
高橋 明德 （天理よろづ相談所病院）

2. 総会成立の宣言

枡尾資格審査委員長から、平成22年3月20日現在の正会員数 556名に対し、本日の出席者45名、委任状出席者269名、合計314名と過半数に達していることから、総会が成立するとの宣言があった。

3. 議案審議

1) 第1号議案：平成22年度事業計画

山田議長から、平成22年度事業計画案について、総括を山本会長より、その後、担当理事から議案書に基づき説明する旨の説明があった。

(1) 総括：山本会長

公益法人制度改革について、日臨技は会長が平成22年度から交代し、対応がやや不透明になったが、公益法人化を推し進める様子である。奈臨技では、大臨技が本年5月に申請するようであり、近臨技での勉強会等連絡を密にして対応を進めていきたい。近畿医学検査学会について、担当県として成功裏に終われるよう会員の協力を頂きたい。詳細は担当から報告とする。日臨技の臨床検査室精度保証認定制度が発足するに当たり、奈臨技ではこの趣旨に賛同し多くの施設で承認を取得できるよう精度管理調査を含め、学術部で環境整備を進めていきたい。昨年に引き続き新たな公益事業として、地域保健事業部の理事を1人増員し充実させていきたい。IT関連では会員への情報の伝達をよりスムーズにできるよう拡充していきたい。など、推進する主な活動について説明があり、会員の理解と協力の要請があった。

(2) 事務局総務部：林田理事

議案書に基づき要旨が説明された。平成22年度は理事1名の増員で地域保健事業部ので新たな公益事業を推し進めるべく20名の執行体制とした旨、説明があった。

(3) 事務局経理部：後藤理事

議案書に基づき要旨が説明された。とくに公益法人化への移行を考えた会計処理方法の検討を行う旨、説明があった。

(4) 学術部：今田理事

議案書に基づき要旨が説明された。補足として、奈良県医学検査学会を5月に開催する。12月に行われる近畿学会を踏まえ多くの一般演題を募集し運営を進め、さらに一般演題についても学会でブラッシュアップができるよう会員の協力を要請する旨、説明があった。

(5) 渉外部：長谷川理事

議案書に基づき要旨の説明があった。また、検査研究部門でできない研修会等を進めていく方針と、協力の要請があった。

(6) 地域保険事業部：安田理事

議案書に基づき要旨の説明があった。補足として、平成21年度に日臨技と共催でエイズ撲滅キャンペーンおよび乳がん征圧キャンペーンを実施したが、今後は奈臨技独自の新たな公衆衛生事業として進めていく旨、説明があった。

(7) 組織法規部：延命理事

議案書に基づき要旨の説明があり、追加事項は特になし。

(8) 福利厚生部：橋詰理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(9) 広報部：倉本理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項として「奈臨技ニュース」への投稿の要請があった。

(10) 地区担当部：枡尾理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(11) 学会担当部：畑中理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項として近畿医学検査学会の運営および発表等の学術の両面での会員の協力要請があった。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、山田議長から第1号議案について質問、意見を求めた。

(山名名誉会員からの要望意見)

公益法人化を目指すのであれば、事業計画案の内容について慎重に見直して頂きたい。特に経理における事業方針について、各事業内容に別法人である日臨技事業と混同しているなど、公益法人の主旨に沿うよう、また独自の法人として事業を整理し明確にするよう要望があった。

(山本会長の答弁)

指摘について感謝するとともに、地域保健事業部等の事業の在り方と

記載方法を整理する旨、回答があった。

(松田会員からの要望意見)

エイズ撲滅キャンペーンおよび乳がん征圧キャンペーンについて、保険所の管轄と思うが、検査技師会としてはどのようにタイアップしていくのか重要である。一つにはWHOが勧めている事業で保健予防事業というアプローチでも良いと思われ、公益事業のアピールとともに名実ともに公益な事業となるよう協同団体を考慮すべきとの要望があった。

山田議長から第1号議案について他の質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

2) 第2号議案：平成22年度予算案

平成22年度予算案：後藤理事

議案書に基づき予算案の説明があった。追加事項特になし。

以上、平成22年度予算案について説明を受けたのち、嶋田議長から第2号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

3) 第3号議案：公益法人制度法改正による新制度への対応について：延命理事 議案書に基づき公益社団法人取得へ向けた推進の要旨説明があった。

嶋田議長から第3号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

4) 第4号議案：平成22・23年度役員について

土屋役員推薦委員長から平成22・23年度の役員について、下記の通り理事20名、監事3名（1名は外部監事）の推薦があった。また、選挙管理委員2名、役員推薦委員2名についても推薦があった。

理事

宗川 義嗣	(県立奈良病院)
延命 孝也	(県立奈良病院)
梅木 弥生	(県立三室病院)
栴尾 茂	(県立三室病院)
久保 修一	(近畿大学医学部奈良病院)
横山 浩	(吉田病院)
山本 慶和	(天理よろづ相談所病院)
畑中 徳子	(天理よろづ相談所病院)

北川 孝道 (天理よろづ相談所病院)
林田 雅彦 (天理よろづ相談所病院)
後藤 きよみ (天理医学技術学校)
藤本 一満 (ファルコバイオ総合研究所)
今田 周二 (平井病院)
山下 幹男 (県立五條病院)
倉本 智津子 (県立医科大学附属病院)
内池 敬男 (県立医科大学附属病院)
田中 佐代美 (大和高田市立病院)
内間 司 (平成記念病院)
上杉 一義 (町立大淀病院)
猪田 美智子 (健康づくりセンター)

監事

船内 和美 (奈良市総合医療検査センター)
今井 竜子 (県立医科大学附属病院)
溝口 裕子 (外部監事 奈良県栄養士会)

選挙管理委員 (平成 22-25 年度)

山田 浩二 (県立奈良病院)
倉村 英二 (天理よろづ相談所病院)

役員推薦委員 (平成 22-25 年度)

伊藤 朋行 (吉田病院)
永井 直治 (天理よろづ相談所病院)

嶋田議長から第 4 号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。その後、豊田選挙管理委員長から当選証書を理事代表の山本理事へ授与され、就任の挨拶があった。

5) 第 5 号議案：一般提出議題について

嶋田議長から事務局に一般提出議題の提案を求めた。林田事務局長から、総会 10 日前までに事務局に届いた一般提出議題はなしと、報告があった。議長より、会場の出席者に緊急動議の有無を確認するもなく、一般提出議題はなしと宣告した。

その他、質問等はなく、嶋田議長からこれを以って本日の審議事項はすべて終了したことが宣告された。

VII 総会役員及び書記の解任

嶋田議長から総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝意の言葉が

述べられた。

VIII 議長挨拶

嶋田議長から議事進行の協力に対して謝意が述べられた後、自らを解任する旨
宣告した。

IX 閉会の辞

今田副会長から社団法人奈良県臨床衛生検査技師会平成 21 年度第 2 回総会の
閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

平成 22 年 3 月 20 日

社団法人 奈良県臨床衛生検査技師会

議 長 山田 浩二

議 長 嶋田 昌司

議事録署名人 松田 誠

議事録署名人 高橋 明德